

歯科材料 9 歯科用研削材料  
一般医療機器 歯科用研磨器材 70907000  
**ジルコシャイン セレクトキット**

**【形状・構造及び原理等】**

[構造及び成分]

松風 ビトリファイドダイアの2形態、ジルコシャインの3種類より構成される。

品目及び種類	形態	成分
松風 ビトリファイドダイア	28	作業部：ダイヤモンド、 ガラス
	29	軸部：ステンレス鋼、 軸部形式1CA用
ジルコ シャイン	コース	28 作業部：ダイヤモンド、 合成ゴム
	ミディアム	28 合成ゴム
	ファイン	28 軸部：ステンレス鋼、 軸部形式1CA用

**【使用目的又は効果】**

本材は各々個別で市販されている歯科用研削器材の「松風 ビトリファイドダイア」と歯科用ゴム製研磨材の「ジルコシャイン」を組み合わせた歯科用研磨器材であり、ジルコニア等の補綴装置の形態修整用及び仕上げ研磨用として同一包装することで、臨床上の利便性に供することを目的としている。

**\*【使用方法等】**

- \* 1) 本材を口腔内で使用する際には、洗浄・消毒・滅菌を行った後に使用します。
- 2) 松風 ビトリファイドダイアを用いて、細部の調整、形態修整を行います。
- 3) ジルコシャイン コースで表面の傷を落とし、面を整えます。
- 4) ジルコシャイン ミディアムで仕上げ研磨を行います。
- 5) ジルコシャイン ファインを用いて、最終仕上げ研磨を行います。
- \* 6) 本材を再使用する場合は、口腔内で使用後速やかに、洗浄・消毒・滅菌を行います。  
滅菌方法：オートクレーブ（134℃ 3分）による滅菌を行います。

[使用方法に関連する使用上の注意]

- 1) ハンドピースメーカーの指示に従って、シャンクを確実に奥まで挿入して半チャックでないことを確認すること。
- 2) 使用前に予備回転を行い、振れがないことを確認すること。
- 3) 作業部が外れたり、軸部が折れたり曲がったりすることがあるので、無理な角度や過度の加圧での使用は避けること。
- 4) 研磨時の摩擦熱により歯面や歯髄等を痛める可能性があるため、過度の加圧や回転速度での連続的な使用は避けること。発熱が大きい場合には冷却（水冷）すること。
- 5) 松風 ビトリファイドダイアの目詰まりや形状の微調整には専用の「松風アジャスター」（別売）を使用すること。

**\*【使用上の注意】**

[重要な基本的注意]

- 1) 指定の最高許容回転速度を超えて使用しないこと。

種類	最高許容回転速度
松風 ビトリファイドダイア	30,000min <sup>-1</sup>
ジルコシャイン	20,000min <sup>-1</sup>

- 2) 変形、キレツ、損傷（錆、表面キズ、曲がり、汚損）等のあるものは使用しないこと。
- 3) 本材を使用して研削・研磨する際には、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク等を使用すること。
- 4) 目の損傷を防ぐために、保護眼鏡等を使用すること。

- \* 5) 【保守・点検に係る事項】に記載する方法及び条件で、洗浄等の処理を行った上で滅菌すること。

**\*【保管方法及び有効期間等】**

[保管方法]

- \* 水分、腐食性薬剤及びその蒸気の暴露を避けて、外圧（物理的負荷）及び汚染を受けないようにし、室温環境下（1～30℃）で保管すること。
- ・本材は歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

**\*【保守・点検に係る事項】**

[使用者による保守点検事項]

- 1) はじめて使用前及び口腔内で使用した後は、下記の手順に従って洗浄・消毒・滅菌の順に処理を行うこと。
- 2) 口腔内で使用した場合、十分な洗浄効果を得るために、使用から1時間以内に洗浄を開始すること。
- 3) 腐食の恐れがあるため、塩素系消毒剤や過酢酸は使用しないこと。
- 4) サイデザイム、ディスオーパの取扱いについては各製品の説明書又は添付文書に従うこと。
- 5) ブラズマ滅菌は、接着材が劣化して作業部が脱落することがあるので使用しないこと。
- 6) ウォッシャーディスインフェクター、オートクレーブ滅菌器の取扱いについては各添付文書に従うこと。

< 用手洗浄・用手消毒 >

- 1) 用手洗浄
  - ① 予備洗浄
    - ・サイデザイムに3分間浸漬します。
    - ・ナイロンブラシで汚染物の除去を行います。
    - ・水洗します。
  - ② 本洗浄
    - ・サイデザイムを新しいものに入れ替え、再度浸漬し、超音波洗浄を15分間行います。
    - ・水洗します。
    - ・ワイブ等で完全に水分をふき取り、乾燥させます。
- 2) 用手消毒
  - ・ディスオーパに5分間浸漬します。
  - ・水洗します。
  - ・ワイブ等で完全に水分をふき取り、乾燥させます。

< 機械洗浄・機械消毒 >

- 1) 機械洗浄・機械消毒
  - ① 予備洗浄
    - ・サイデザイムに3分間浸漬します。
    - ・ナイロンブラシで汚染物の除去を行います。
    - ・水洗します。
  - ② ウォッシャーディスインフェクターによる洗浄・消毒
    - ・ウォッシャーディスインフェクターにて洗浄・消毒を行います。なお、使用するウォッシャーディスインフェクターはISO15883に適合したものを使用すること。

< 滅菌 >

- ・滅菌バッグに本材を封入し、134℃で3分、オートクレーブ滅菌を行います。なお、使用するオートクレーブ滅菌器はクラスBを推奨します。

< 滅菌後の保管 >

- ・滅菌後は使用するまで滅菌バッグは開封しないこと。
- ・清潔で乾燥した環境下で保管すること。

\*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者	株式会社 松風
住所	〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町 11
* 電話番号	(お客様サポート窓口)075-778-5482